

なごやか地域福祉 ニュース

2014.7
第8号

発行：地域福祉に関する計画策定事務局

つながりの希薄化と地域からの孤立

いま何が課題となっているのか。

- ・地域での住民同士のつながりが薄れてきています。
- ・世帯構造の変化により、地域からの孤立が生まれる可能性が高まっています。

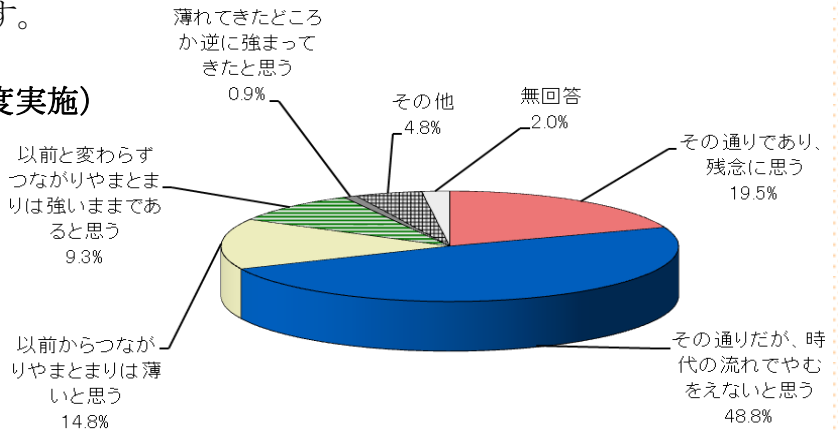


●約7割の人は「人と人とのつながりが薄れている」と感じている

市民アンケートの結果によると、下図のとおり、「地域においての人と人とのつながりや、まとまりが薄れてきている」といわれていることについて、約7割の方が「その通りだと思う」と回答しています。

市民アンケート結果（平成25年度実施）

問 近年、「地域においての人と人とのつながりや、まとまりが薄れてきている」といわれていますが、あなたのお住まいの地域はどのような状況だと思いますか



また、平成22年10月1日現在の単身世帯は、約41万5千世帯ですが、平成37年には約49万9千世帯となり、核家族世帯も約52万世帯になると推計されています。全世帯数が約109万3千世帯と推計されており、多くの割合を占めることとなります。単身世帯や核家族世帯の場合、家族内や地域での助けあいの力が低下することが多く、孤立してしまうリスクが高いとも言われています。

こうした現象は、所在不明高齢者、虐待、孤立死、消費者被害トラブル、ごみ屋敷、大規模団地内における高齢者の孤立、災害発生時の要援護者支援、経済的困窮などの問題に密接にかかわっていると考えられます。なぜなら、地域でのつながりの希薄化や地域からの孤立が生まれることで、日常生活を支えている家族や近隣などの互助的な助け合いの仕組みからはずれてしまう人が増えると考えられているからです。

本計画の策定では、このような課題に対する解決策を議論しています。

公式ホームページでは、計画の策定状況を順次お知らせしています。

名古屋市地域福祉に関する計画

検索



各区社会福祉協議会の作成する地域福祉活動計画が続々と！

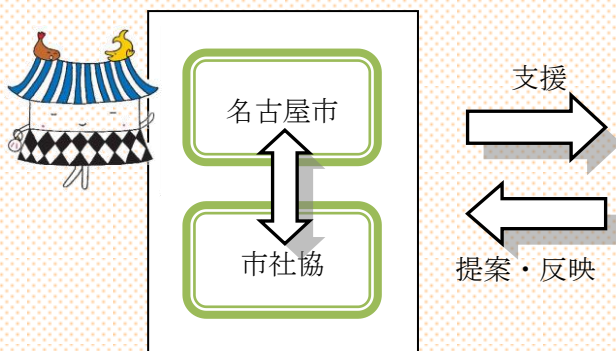
市内16区の社会福祉協議会（以下「区社協」という。）では、平成25年度に策定作業を進めていました第3次地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）の策定を終え、冊子の印刷・配布作業を進めています。今回の計画期間は、平成26年度から30年度までの5か年です。

この16区ごとの活動計画は、区の特성에応じた個性ある地域福祉の推進を目指して、公募した区民の皆さんや、地域の団体・社会福祉事業者等を中心に策定されています。「地域福祉に関する計画」では、こうした区民等の声も反映させるため、活動計画に盛り込まれている目標や方策を取り込むよう努めています。また、それらの方策を支援することができる内容として整合を図り、各区での取り組みを支援することができるような支援方策を検討していきたいと考えています。

なお、この活動計画の策定作業には、区役所の職員も参加しており、策定後も区社協は必要に応じて区役所と連携をしながら、取り組みを進めることになっています。

貴方のお住まいの区では、どのような活動計画が作成されているのでしょうか。今後、各区の社会福祉協議会では、冊子の配布やホームページでの掲載により、計画の周知を図っていく予定です。

地域福祉に関する計画



16区社協の地域福祉活動計画



※印刷が完成していない区もあります。上記の写真は、前回計画。

☀ 会議傍聴のお知らせ

「第4回専門部会」7月22日（火）午後2～4時 場所：名古屋市公館

予定議題 地域福祉に関する計画の素案について ほか

（この会議は、5名まで傍聴することができます。当日受付午後1時から1時45分現地。）

今後のスケジュール

- ・ 7月～ （素案作成を進めます。）
- ・ 7月22日（火）第4回専門部会
- ・ 8月21日（木）第5回専門部会



【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2547 / Fax 052-955-3367